

令和6年度

事業報告書

公益財団法人 静岡産業振興協会

# 目 次

<b>&lt;総 括&gt;</b>	<b>1</b>
<b>1 公益目的事業</b>	<b>4</b>
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	4
① 展示場及び会議室等の貸与	4
(2) 地場産業支援事業	6
① 新製品、新技術支援及びデザイン開発支援事業	6
② 人材養成、人材確保推進事業	9
③ 「産業フェアしずおか」開催事業	12
④ 「ものづくり産業体験事業」に対する協賛金交付事業	13
(3) 都市型産業支援事業	14
① 創業に関する相談、創業者間の交流の 推進等創業者に対する総合的支援	14
② 創業者及び中小企業と大学等との連携の推進	17
③ 製品、技術及び事業計画等の展示及び発表会の開催	19
④ 経営に関する相談等総合的な経営支援	20
⑤ 産業及び大学等に関する情報の収集及び提供	22
⑥ 大学等と企業、地域社会等の協力による地域課題の 解決に向けた調査及び研究並びに人材育成	23
⑦ 施設提供事業	24
(4) 静岡市中小企業支援センター事業	25
① 窓口相談等事業	25
② 専門家派遣事業	26
③ 中小企業経営力強化事業	26
④ 中小企業等経営支援事業	27
⑤ 制度融資関連事務	28
<b>2 収益事業（ツインメッセ静岡）</b>	<b>29</b>
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	29
① 展示場及び会議室等の貸与	29
② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業	30
<b>3 公益と収益に共通する事業</b>	<b>31</b>
(1) 利用促進事業（ツインメッセ静岡）	31
(2) 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）	32
(3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）	33
<b>4 組織づくり・人材づくりへの取組</b>	<b>34</b>
(1) 組織内の人材育成	34
(2) 組織内の内部統制	34
<b>5 理事会・評議員会</b>	<b>35</b>
(1) 理事会	35
(2) 評議員会	36
<b>参考資料</b>	
◇ 展示場の利用状況	37
◇ 会議室の利用状況	40
◇ 年間来場者数	40
◇ 組織構成	41

<総括>

当協会が策定した第2次中期経営計画（2023年度～2026年度）の2年目にあたる本年度は、前年度に引き続き静岡産業支援センター（ツインメッセ静岡）では「ツインメッセ静岡貸館事業」及び「地場産業支援事業」を、静岡市産学交流センターでは「都市型産業支援事業」及び「中小企業支援センター事業」を概ね計画どおりに実施することができた。

ツインメッセ静岡の貸館事業では、模型・ホビーと親和性のある新分野へのアプローチを積極的に行い、クラフトフェア、カードゲーム大会、ダーツ大会、同人誌即売会などのホビー関連催事を多数開催することに成功した。結果としては、利用率は目標値にわずかにとどかなかつたが、売上は目標値を達成することができた。

地場産業支援事業では、伝統工芸技術保存講習会において、伝統工芸業界の後継者を対象に講習会を開催し、伝統技術の継承及び新技術の習得を支援した。

また、「産業フェアしずおか」は、従来の紙媒体に加えSNSやホームページを活用した情報発信の強化に取り組んだ結果、静岡の産業の魅力をより多くの方々に周知することができ、前年を上回る来場者数を獲得するとともに、出展者からも高い評価を得ることができた。

産学交流センターでは、空調改修工事のため、2か月ほど休館を余儀なくされたが、同期間を除き、前年度と同程度に様々なセミナーを開催することができた。

ビジネスプランコンテストは、同センター内の創業支援事業と連携させることで、応募件数が増加した。また、受賞者に対しては、継続的にビジネス化に向けて支援を続けている。

商品開発プロジェクト（旧；静岡おみやプロジェクト）は、都内大規模展示会に試験的に出展したことで、想定以上の取引に繋がった事業者もあり、今後の事業展開に収穫のあるものとなった。

また、中小企業診断士及びIT専門家が中小企業者に対して窓口相談を行った。企業のデジタルシフトが加速するなか、ECサイトやWEBマーケティングなどITに関する相談が増加した。

なお、第2次中期経営計画の年度計画における実績の主なものは、次表のとおりである。

第2次中期経営計画の年度計画における実績の主なもの

	令和6年度計画	実績（※評価）	説明等
ツインメッセ静岡貸館事業			
1	南・北大展示場の利用率51%以上	50.0% (○)	利用者への的確なサポートや積極的な営業を行った結果、利用件数は増加した。しかし、利用日数が減少したことから、利用率は前年度の50.6%から0.6ポイント下降した。
地場産業支援事業			
2	展覧会及びコンペティションへ2点出品	5点 (◎)	出品5点中4点が入選（受賞）。
3	「産業フェアしずおか」来場者、出展者の満足度90%以上	来場者満足度89% 出展者満足度90% (○)	来場者数増加により物販等の売上も好調に推移し、出展者満足度が向上した。
都市型産業支援事業			
4	下記3項目の合計数40件以上 新規創業者数 新商品開発数 新分野進出件数	新規創業者数 31件 新商品開発数 7件 新分野進出数 9件 計47件 (◎)	相談員・コーディネータ等が各自の得意分野を活かし様々な面からサポートした。
5	IT関係の専門家（専門家派遣事業）を確保2名以上	3名確保 (◎)	新規登録専門家数 15名 登録専門家数総計 122名
6	産学連携コーディネータ相談対応件数100件以上、 産学官金連携、異業種交流マッチング件数2件以上	108件 (◎)  3件 (◎)	マッチング内訳 ・赤坂鉄工/静岡油化工業/シンビ ・シーズプロジェクト/日本軽金属/StudioBAB ・オカラテクノロジー/東海大学海洋学部

	令和6年度計画	実績（※評価）	説明等
長期的な視点に立った施設の保安全管理			
7	計画修繕の実施 中長期修繕計画の見直し	南館地下駐車場泡消火設備修繕等 13件 中長期修繕計画を見直し、令和7年度以降の計画（案）を策定  (○)	保守点検業務の点検結果等より施設、設備機器の状況を確認し、優先的に取組む修繕項目の順位付けと修繕費用を考慮した年度の割り振りを行った。
財政基盤の強化と健全な財政運営の推進			
8	基本財産収入(ツインメッセ静岡) 4億4,000万円以上	賃貸料収入 3億9,292万円 駐車場収入 5,409万円 計 4億4,701万円  (◎)	模型・ホビーと親和性のある新分野へ積極的にアプローチし、多くのイベントの開催に成功した。
組織づくり・人材づくり			
9	研修受講	職員が希望する業務に直結する研修を受講  (◎)	公益法人新会計基準移行に伴う講座や、市消防局主催の救命講習などを受講した。
10	整備が必要な規程等の確認作業を行い、整備後順次施行	規程を一部改正し施行 1件  (◎)	職員の定年延長に伴い就業規程の一部を改正し協会の運営安定化を図った。

※評価の表示

◎＝達成（100%以上） ○＝ほぼ達成（90%以上） △＝未達成（90%未満）

## 1 公益目的事業

### (1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

地域産業の経済活動支援や人材育成事業など、公益を目的とした事業のため、地場産業団体、地元中小企業や国・県・市などの行政機関に展示場及び会議室を貸与し、地域経済の振興に寄与した。

#### ① 展示場及び会議室等の貸与

前年度に引き続き、新型コロナや南館大規模改修による休館の影響で低迷した利用率の回復を目指し積極的な営業活動を展開した。

B to B 展示会や B to C 催事は、「静岡ホビーショー」、持ち回りで開催される「第 38 回全国優良ツキ板展示大会」、「メディメッセージ 2024」などが開催された。

また、確定申告会場、国家試験会場、選挙開票所といった公共性の高い利用もあり、堅調に推移した。

しかし、展示場における公益目的の催事件数は 180 件と、前年度の 198 件から 18 件の減少となった。

また、収入額を基に算出した公益目的事業比率は 69.8%となった。

#### 【主な展示場利用】 ※地場産業団体、一般企業等の利用

催 事 名	使用期間
三協立山株式会社 三協アルミ社	4/3～4/8
第 62 回静岡ホビーショー	5/5～12
シズオカ [KAGU] メッセ 2024	6/9～6/16
静岡優良ツキ板展示大会（第 71 回・第 72 回）	6/25～27、11/5～7
しんきんフェア静岡 2024	10/8～9
メディメッセージ 2024	10/24～27
ホビーのまちクリスマスフェスタ 2024	12/5～12/8
TGC しずおか 2025 by TOKYO GIRLS COLLECTION	1/8～12
第 38 回全国優良ツキ板展示大会	3/4～6
第 45 回静岡どてらい市	3/12～16



第 62 回静岡ホビーショー  
県内外から終日多くの来場者があり賑わった。



しんきんフェア静岡 2024  
293 団体が出展し盛大に開催された。

【主な展示場利用】※国、県、市等の利用

催事名	使用期間
静岡県知事選挙 葵区・駿河区 開票区開票会場	5/27
令和6年度 静岡市職員採用試験	6/15～16、9/28～29
登録販売者試験（一般用医薬品販売の国家資格試験）	9/3～4
令和6年第58回通関士試験会場	10/5～6
静岡県介護支援専門員実務研修受講試験	10/12～13
衆議院議員総選挙及び 最高裁判所裁判官国民審査葵・駿河区開票会場	10/27
SDGs Runway SHIZUOKA2025	1/8～12
令和6年分静岡・清水税務署合同確定申告会場	2/4～3/18



選挙開票会場  
葵区・駿河区の開票作業が行われた。



SDGs Runway SHIZUOKA2025  
TGCしずおか2025と同時開催でSDGs推進をPRした。

## (2) 地場産業支援事業

ツインメッセ静岡内に設置されている地場産業支援設備や蓄積した事業実施のノウハウを活用し、静岡市や地場産業関連団体・施設等との連携を強化することで、地場産業の抱えている課題解決に向けた支援を行い、地場産業の振興に寄与した。

### ① 新製品、新技術支援及びデザイン開発支援事業

#### <ニューウェーブ「しずおか」創造事業>

地元製造業者の新商品開発へのチャレンジを支援するため、地元製造業者とデザイナーとのマッチングを行い、デザインの力を活用した新商品開発を行った。

本年度は、「新規部門」に5社、「継続部門」に1社の合計6社が参加した。

開発された商品は、令和7年2月の「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」で展示・発表をした。

開発商品に対して、相当数の注文を受けるなどの成果が得られた。



出展ブースを拡大した販路開拓・PR事業と  
共同で出展したギフトショーの様子

#### ◆展示発表会

「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」

- ・期 日 令和7年2月12日（水）～14日（金）
- ・会 場 東京ビッグサイト

成果目標	結果
開発商品の実用化件数2件（経営計画目標）	2件
展示会での商談件数40件（経営計画目標）	61件

※地場産業販路開拓・PR事業と共通の目標

【令和6年度開発商品】



岸本挽物  
×  
スタジオ・ヨー



三協紙業 (株)  
×  
AKIRA MABUCHI DESIGN



ウッドクラフトコバヤシ  
×  
(有) ケルビム



(株) グローバルサンワ  
×  
TAKASHI TESHIMA DESIGN



(株) 中山家具  
×  
TOMOMI YOKOYAMA DESIGN



スタンドグラス工房サンクラフツ  
×  
山田誠一建築設計事務所

※上段：参加企業  
×  
下段：参加デザイナー

## <地場産業販路開拓・PR事業>

当協会の地場産業支援事業で開発、製作した製品のアフターフォローを行う事業で、過去の参加企業や団体、個人事業者等に対し、取扱商品の販路開拓やPRの場を提供し、継続的な支援を行っている。

本年度は、6月の「インテリアライフスタイル」と令和7年2月の「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」に出展ブースを増やすなど支援を拡充した。

### ◆展示会

#### 「インテリアライフスタイル」

- ・期 日 令和6年6月12日（水）～14日（金）
- ・会 場 東京ビッグサイト
- ・参加事業者 中山家具(株)、(株)Sスズキ技研工業、  
岸本挽物、(株)水鳥工業、  
大日三協(株)、富士護謨産業(株)



出展規模を拡大して6社で出展した  
インテリアライフスタイル

#### 「東京インターナショナルギフトショー LIFE×DESIGN」

- ・期 日 令和7年2月12日（水）～14日（金）
- ・会 場 東京ビッグサイト
- ・参加事業者 大日三協(株)、(株)Sスズキ技研工業、  
岸本挽物、(株)水鳥工業、  
(有)藤原木工、杉本家具(株)

成果目標	結果
開発商品の実用化件数2件（経営計画目標）	2件
展示会での商談件数40件（経営計画目標）	61件

※再掲

## <若手職人支援プロジェクト>

静岡の伝統工芸、ものづくり産業の未来を担う若手職人グループ・するがクリエイティブが行った、展示販売会「するがクリエイティブ 静岡伊勢丹展」を対象に支援を実施した。

成果目標	結果
展示販売会参加者の満足度90%以上	100%

## ② 人材養成、人材確保推進事業

### <伝統工芸技術保存講習会>

伝統工芸業界の後継者を対象に講習会を開催し、伝統技術の継承及び新技術の習得を支援した。

「木工の部」を受講した大石晃氏は、「第 11 回日展 第 4 科(工芸美術)」で入選、「第 33 回工芸美術日工会展」で日工会賞、「第 50 回静岡県工芸美術展」で中日新聞東海本社賞を受賞した。

また、「木工の部」と「拭漆の部」を受講した久留則子氏は、「木工の部」で素地を作り、「拭漆の部」で仕上げを行い「第 56 回東海伝統工芸展」へ出品し、入選を果たした。

	開催日数	講師	受講者数	内容
漆器の部	20 日	安藤嘉津夫 氏	10 人	乾漆
駿河竹千筋細工の部	11 日	大村俊一 氏	9 人	偏心
木工の部	17 日	松島富蔵 氏	6 人	刳物(クモ)
蒔絵の部	18 日	鈴木則次 氏	9 人	蒔絵加飾
拭漆の部	10 日	安藤嘉津夫 氏	7 人	拭漆実習



「駿河竹千筋細工の部」講習の様子



東海伝統工芸展入選  
久留則子氏作 「榉拭漆卵鉢」

成果目標	結果
展覧会及びコンペティションへの出品 2 点 (経営計画目標)	5 点出品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第 11 回日展 第 4 科(工芸美術)」 1 点 (入選)</li> <li>・「第 33 回工芸美術日工会展」 1 点 (日工会賞受賞)</li> <li>・「第 50 回静岡県工芸美術展」 1 点 (中日新聞東海本社賞受賞)</li> <li>・「第 56 回東海伝統工芸展」 1 点 (入選)</li> <li>・「第 20 回伝統工芸木竹展」 1 点</li> </ul>

## <静岡ものづくり支援事業>

地場産業におけるものづくり関係者を対象に、地域産業の抱える課題の解決につながるための講演会及び講座の開催、展示会への出展等を実施した。

### ◆公開講演会

静岡県出身で現在は飛騨高山で地域材活用に取り組んでいる及川氏を講師に招聘し、活動内容及び自ら経営する製材所における取組について講演いただいた。

また、静岡大学横田教授をゲストスピーカーに迎え、静岡における地域材活用の取組について報告を受けるとともに、トークセッションを行い、地域材活用の可能性について理解を深める機会とした。

- ・期 日 令和7年2月7日（金）
- ・会 場 ツインメッセ静岡 会議室 409
- ・テーマ 飛騨高山×静岡 地域木材の活用  
～「地物の木」と「旬」を活かす、木の文化の流通について～
- ・講 師 及川 幹氏  
((株) ヤマカワ製材舎 代表)
- ・ゲスト  
スピーカー 横田 宏樹氏  
(静岡大学人文社会科学部経済学科 教授)
- ・参加者 34名

スライドを使用して飛騨高山における地域材活用の説明をいただいた。



### ◆実践講習会

世界的に著名なインテリアデザイナーである倉俣史朗氏が、1960年代から80年代にかけて静岡市内で手掛けた店舗や、当時の施工資料を収集・展示した企画展（静岡市美術館開催）を巡る講座を実施した。

クラマタデザイン事務所に在籍し、静岡の店舗にも数多く携わった五十嵐久枝氏による解説のもと、現在においても色褪せることのない倉俣氏のデザインについて理解を深める機会となった。

- ・期 日 令和6年11月6日（水）
- ・会 場 静岡市美術館、真田屋呉服町店、BAR COMBLE
- ・テーマ 静岡の商業施設におけるインテリアデザインを学ぶ  
～五十嵐久枝氏と巡る倉俣デザイン探訪～
- ・講 師 五十嵐久枝氏（インテリアデザイナー）
- ・協 力 静岡市美術館
- ・参加者 23名

現存するクラマタデザインの代表であるBAR COMBLEでの様子



◆技術プロモーション支援

静岡の地場産業の商品・技術をPRするため、令和7年3月にホテルカンラ京都で開催された「Kyoto Crafts Exhibition DIALOGUE」に初出展した。

この展示会にはマーケットデイが設定されており、バイヤーをはじめとしたB to Bのみならず、エンドユーザー等のB to Cに向けたPRを実施することができた。

「Kyoto Crafts Exhibition DIALOGUE」

- ・期 日 令和7年3月12日（水）～15日（土）
- ・会 場 ホテルカンラ京都
- ・出展企業 岸本挽物（木工挽物）  
日本スエーデン（革製品）

静岡の地場産業の商品・技術をPR



◆ものづくりイベント実施に向けた協業・支援

10月に開催された工場見学イベント「ファクハク 静岡工場博覧会」及び11月に開催されたクラフトイベント「共生」への支援を行った。

「ファクハク」については、静岡市と連携しながら、参加企業の紹介や運営サポート、広告協賛を実施し、「共生」についても広告協賛を実施した。



「ファクハク」での工場見学の様子



「ファクハク」でのワークショップの様子

成果目標	結果
講演会の参加者数 30名以上	講演会の参加者 34名
オープンファクトリーやワークショップなどのイベントの実施（経営計画目標）	「ファクハク」「共生」のイベント開催についてサポート支援を実施した。

### ③ 「産業フェアしずおか」開催事業

「SHIZUOKA UP ～買って、食べて、楽しんでシズオカの産品をタグづけ！くぎづけ！～」をキャッチコピーに掲げ、静岡市の地場産業や地場産品の魅力を広く発信・共有・拡散することを目的として開催した。

来場者には、「見て・触れて・体験できる」企画を通じて静岡の魅力を実感していただくとともに、地場産品への愛着を深め、自らがインフルエンサーとなってその魅力を広めていただけるよう願いを込めて開催した。

会場では、地場産業や農林水産業、観光などの展示・PR・販売を実施し、各産業や産品の魅力を発信した。

また、「中部横断道交流物産ストリート」では地域間交流を促進し、さらに子ども向けの体験コーナーも充実させることで、地場産業への理解を次世代へつなげる取り組みも行った。

周知にあたっては、従来の紙媒体に加え、SNSやホームページを活用した情報発信を強化し、より多くの方々にフェアの魅力伝えるよう努めた。

フェア全体の出展者数は186団体となり、新型コロナ拡大前に迫る規模での開催となり、盛況を博した。

- ・期 日 令和6年11月28日（土）・29日（日）
- ・テーマ 「SHIZUOKA UP! ～買って、食べて、楽しんでシズオカの産品をタグづけ！くぎづけ！～」
- ・会 場 ツインメッセ静岡  
北館大展示場、南館大展示場 他
- ・出展団体 186 団体
- ・入場者数 47,100 人



プロムナード  
賑わいを見せた  
「中部横断道交流物産ストリート」



北館大展示場  
 地場観光・林業ゾーンの様子



南館大展示場  
 農業・林業・水産業・企業ゾーンの様子

成果目標	結果
来場者満足度 90%以上（経営計画目標）	89%
出展者満足度 90%以上（経営計画目標）	90%

#### ④ 「ものづくり産業体験事業」に対する協賛金交付事業

応募のあった静岡模型教材協同組合が実施した「第 62 回静岡ホビーショー 小中高校生招待日」に対して、助成を行った。

### (3) 都市型産業支援事業

静岡市産学交流センターの指定管理業務を受託し、次代を担う本市を代表する産業を生み出すこと、及び、世界、全国に挑戦する中小企業の振興を図ることを目指して、創業支援、マーケティング支援、産学連携など各種事業を実施した。

#### ① 創業に関する相談、創業者間の交流の推進等創業者に対する総合的支援

##### <創業希望者等に対する経営指導、ビジネスプランのブラッシュアップ等の実施>

創業や経営に関する悩みや課題解決に向け、プロジェクトマネージャーをはじめとする支援スタッフ・窓口相談員が経営相談、事業指導を実施した。

成果目標	結果
相談件数 200 件	218 件

##### <創業希望者に対するセミナー、講座、研修等の実施>

創業希望者が抱える課題の解決に実効性のある、各種創業者支援セミナーを開催した。

#### ◆起業スタートアップ塾

創業間もない方、創業に関心のある方に対し、SNSの活用方法に特化したセミナーを開催した。

地元で活躍する起業家をゲスト講師に迎えて意見交換を行うほか、ビジネスにおけるSNSについての講義を行った。

- (1) ・期 日 令和6年4月20日  
・テーマ 「ビジョンシートであなたの夢を明確にしよう」  
・講 師 内田 美紀子氏  
・参加者 23名
- (2) ・期 日 令和6年5月25日  
・テーマ 「SNSであなたのビジネスファンをつくる／先輩起業家トークセッション」  
・講 師 増田 郁理氏  
・参加者 25名

参加者は熱心にワークに取り組んだ



#### ◆創業支援セミナー

創業予定者を対象に、B-nest 経営応援団（中小企業診断士）による創業セミナーを開催した。

マーケティングの基礎知識や資金計画の立て方、ビジネスプラン作成等の講義のほか、当センターと係わりの深い創業者を招聘し、創業前後の実体験を語っていただいた。

セミナーは、令和6年7月3日より全6回開催し、特別編では、具体的なテーマを絞り令和7年1月に2回開催した。

#### ◆創業後のフォローアップセミナー

創業後5年以内の方を対象に、これまでの事業の振り返りや今後の展開を考えるきっかけづくりのセミナーを実践的な内容で開催した。

- (1) ・期 日 令和6年6月25日  
・テーマ 「選ばれるプレスリリースの書き方」  
・講 師 (株)Shireru 代表 山田 みかん氏  
・参加者 23名
- (2) ・期 日 令和6年12月6日  
・テーマ 「chatGPTを活用した自社の事業PRを作成してみよう」  
・講 師 (株)ラーニングライト 代表 中村 俊也氏  
・参加者 15名

成果目標	結 果
新規創業者数・新商品開発件数・新分野進出件数 40件以上（経営計画目標）	新規創業者数 31件
	新商品開発数 7件
	新分野進出件数 9件
	計 47件

※中小企業支援センター事業 ①窓口相談等事業と共通の目標

＜学生等に対する創業機運の醸成のための講義及びワークショップの実施＞

大学や高等学校等の学生を対象に、「ビジネス実践講座」を実施し、なぜ創業について学ぶのか、ビジネスにおけるアイデアの出し方、事業化・資金計画の策定の仕方等の基礎的知識の習得機会を提供し、選択肢としての「創業」や「就業」、「会社の仕組み」等への理解を深めた。



静岡市立高校での授業風景

実施大学等の名称	実施回数	参加者数
静岡大学	3回	9名
静岡英和学院大学	2回	24名
静岡デザイン専門学校ファッションビジネス科	3回	34名
静岡デザイン専門学校プロダクトデザイン科	4回	12名
常葉大学	4回	16名
静岡県立科学技術高等学校	1回	41名
静岡市立高等学校	1回	172名
常葉大学附属橘高等学校	4回	56名
合計（8校）	22回	364名

成果目標	結果
1校につき3回程度で6校程度に派遣	8校に対し延べ22回派遣

## ② 創業者及び中小企業と大学等との連携の推進

### <産学連携コーディネータ相談事業>

大学等が保有する高度な技術、人材、知識などを、中小企業が新製品開発、新事業進出などに活用できるよう橋渡しを行った。また、産学連携を促進するため、積極的に情報収集・提供を行い、大学等と企業との交流・連携事業を実施した。

#### ◆実施内容

事業名	内容	実績
産学連携 コーディネータ相談	企業が抱える問題、課題等への相談	108件
静岡地域産学連携 コーディネータ会議	静岡大学、静岡県立大学、東海大学海洋学部、(公財)静岡県産業振興財団、静岡県工業技術研究所、静岡市清水産業・情報プラザ、静岡市経済局産業政策課、(一財)マリンオープンイノベーション機構、しずおか焼津信用金庫との情報交換	全5回
事例セミナー、講演会 の開催	・第152回「産学官交流」講演会・交流会 発表者：静岡理工科大学	参加53名
企業及び大学見学会の 開催	・沼津工業技術支援センター ・ファルマバレーセンター ・藤枝農産工業 ・村田ボーリング技研 ・伊藤園相良静岡工場	参加16名 参加16名 参加13名 参加13名 参加35名

◆産学官金、異業種連携のマッチング事例

・【赤坂鉄工/静岡油化工業/シンビ】

家庭からの廃食用油回収の静岡油化工業と、バイオディーゼル製造装置を作る赤坂鉄工と、発電機技術に詳しいシンビがマッチングしてのEV急速充電接続の実用化プロジェクト

・【シーズプロジェクト/日本軽金属/StudioBAB】

日本軽金属が力を入れている水素技術利用して、水素発電機により、航続距離をのばしたドローンの運用

・【オカラテクノロジズ/東海大学海洋学部】

生おからの食用利用を行うための衛生調査及びおからとマグロを用いた食品開発に向けた最適配合の研究



産学連携コーディネータの起業視察会を通じて  
先進技術を研鑽し橋渡しをする

成果目標	結果
相談件数 100 件以上（経営計画目標）	108 件
産学官連携、異業種連携のマッチング 件数 2 件以上（経営計画目標）	3 件

### ③ 製品、技術及び事業計画等の展示及び発表会の開催

#### <ビジネスプランコンテスト及び伴走型支援の実施>

静岡県内で新規に事業展開を目指す事業者及び学生を対象に、起業家精神の高揚と柔軟な発想力・独創性に富む人材の発掘、中小企業における新製品・新サービス開発促進の支援を目的として「第23回ビジネスプランコンテスト」を開催した。

この事業は、ビジネスプラン作成集中講座や応募段階からの相談など、ビジネスプランの作成から事業の立ち上げまで一貫した支援体制が特徴となっている。



審査員の面前で緊張の面持ちでプレゼンする学生たち



審査員とコンテスト入賞者による記念撮影

#### ◆第23回ビジネスプランコンテスト

・募集期間 令和6年7月1日～9月20日

・応募件数 94件(うち学生部門68件)

【最終審査会】(令和7年1月16日)

##### ○一般部門

最優秀賞；ダンゴムシが作る循環システム

／roly-poly Organics 眞杉 雛多

優秀賞；お茶×お酒のクラフトカクテルキット「Zen Tea Brew」

／株式会社 dozo Zen Tea Brew 事業部 代表取締役 三浦 弘平

##### ○学生部門

最優秀賞；「たけも」あなたのお部屋に小さな日本を。

／静岡デザイン専門学校 プロダクトデザイン科2年 曲渕 希理他2名

成果目標	結果
応募件数50件以上	94件

#### ④ 経営に関する相談等総合的な経営支援

##### <商品開発プロジェクトの実施>

静岡市の新たな観光資源となり得る魅力ある商品づくりを目指し、新商品開発を実現する目的で、「消費者視点で既存商品リニューアル」をプロジェクトテーマとし、既に販売している商品のリニューアルを通じ、マーケティング視点での商品開発ノウハウの習得と商品開発力の向上を目指した。

また、本年度は、試験的な販売促進関連事業として、「東京インターナショナルギフトショー グルメショー」にて、販路開拓やPRの機会を提供したところ、新たな取引先の開拓につながった。

##### ◆取組内容

- ・勉強会／9回
- ・個別相談会／9回
- ・消費者モニターによる試食評価会／1回
- ・専門家による試食評価会／1回
- ・成果発表会；令和7年3月21日  
場所：静岡市産学交流センター  
発表会及び試食会を実施  
(参加人数 31人)



戦略シミュレーションでは白熱した意見が飛び交った

#### 【令和6年度開発商品】

【新開発商品】

清水の家庭の新定番！  
“飲むみかんゼリー”

【新開発商品】

パティシエが作る特別な静岡土産  
“静岡カヌレ”

【新開発商品】

水筒にポン！美味しいお茶のできあがり  
“水筒専用水出し茶”

【新開発商品】

惣専門店が作るご当地ドレッシング  
“醤油麹ドレッシング”

【新開発商品】

静岡名物黒はんぺんを常温でお手軽に  
“黒はんぺん(常温)”

【新開発商品】

お菓子と一緒に食事パン  
“ルパンシリーズ”

◆販売促進関連

- ・清水エスパルス vs 横浜F C

開催日：令和6年9月28日（土）

会 場：国立競技場 場外

- ・大道芸ワールドカップ in しずおか

開催日：令和6年11月1日（金）～4日（月）

場 所：「どき！どき！ランドSBS」内おみやブース出展

- ・「産業フェアしずおか2024」

開催日：令和6年11月23日（土）・24日（日）

場 所：ツインメッセ静岡

- ・「第99回東京国際ギフトショー グルメショー」出展

開催日：令和7年2月12日（水）～14日（金）

会 場：東京ビッグサイト

- ・「B-nest 食のフェスティバル2025」実施

開催日：令和7年3月15日（土）

場 所：エスパルスドリームプラザ

出店者：令和6年度「商品開発プロジェクト」

参加事業者及び過去の参加者を含む全20社が参加



ギフトショーのグルメショーでは  
開発した新商品が好評だった

成 果 目 標	結 果
新商品開発5件以上	6件

⑤ 産業及び大学等に関する情報の収集及び提供

＜ホームページ、機関紙等による情報提供＞

当センター、国・県・市等の各行政機関及び産業支援団体等の産業支援に関する情報について、ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook、YouTube や広報誌「B-nest FACE」等の媒体により、分かりやすくタイムリーな情報発信を利用者に提供したほか、メディアへの当センターの掲載回数増にも注力した。

成 果 目 標	結 果
メールマガジン新規登録者数 200 件	120 件

(参考) 令和 6 年度末メルマガ登録者数 3,138 件／前年比－49 件

＜6 階、7 階ラウンジ及び地下通路ショーケースでの情報提供＞

当センターのラウンジ等にて「静岡おみやプロジェクト」「産学共同研究委託事業」等で新たに開発された製品の展示や、それらに関する情報を提供した。

また、国・県・市等の各行政機関、他の産業支援団体及び大学等の産業支援施策の情報の一元的な提供にも努めた。

⑥ 大学等と企業、地域社会等の協力による地域課題の解決に向けた調査及び研究並びに人材育成

＜地域課題に係る産学共同研究委託事業＞

中小企業者や各団体が大学等と共同で行う新製品の開発・事業化、新たな事業への進出や社会・経済・環境の変化に対する取り組み等（調査・研究・開発事業等）を支援した。

	研究事業	企業 (中心団体)	大学
基礎 コース *1	AIによるプラスチック射出成形不良の原因分析と発生予測	愛工業(株)	静岡理工科大学 情報学部
	梅ヶ島地区における温泉資源を利用した有機コーヒー栽培	梅ヶ島くらぶ	静岡大学農学部
	生おからの食用利用を行うための衛生調査ならびにおからとマグロを用いた食品開発に向けた最適配合の研究	(株)オカラテクノロジズ	東海大学海洋学部
	枯渇するリン資源の効率的な回収方法および高純度精製技術の開発	三和建商(株)	静岡大学工学部
	廃食用油のバイオ燃料化とエネルギーの地産地消モデルに関する研究	(株)シンビ	静岡大学未来社会 デザイン機構
	セルロース繊維を活用した次世代型雑草抑制資材の開発	(株)清友農材センター	静岡大学農学部
応用 コース *2	マグロ肥料を用いた静岡茶有機栽培モデルの開発	伊豆川飼料(株)	静岡大学学術院 農学領域
	AIの利用によるスキルに基づく従業員配置自動化の研究	栗田静電(株)	静岡理工科大学 総合技術研究所
発展 コース *3	人工海藻 C-lant を活用した新しい藻場造成手法の確立とビジネス化に向けた実証	(株)東海アクアノーツ	静岡市海洋産業 クラスター協議会

- \*1 基礎コース（委託限度額100万円）では、主に、「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択した。
- \*2 応用コース（委託限度額200万円）では、主に、「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に実用化（商品化）が見込めるものを採択した。
- \*3 発展コース（委託限度額100万円）では、基礎コースまたは応用コースを経験した後、数年内の課題で、研究が既に終了し、実用化（商品化）を目的とするものを採択した。

◆成果事例の内訳

- (1) 人工海藻 C-lant の設置と維持管理サービス開始
  - ・(株) 東海アクアノーツ (R 3 年度 ; 基礎コース、R 4 年度 ; 応用コース、R 6 年度 ; 発展コース)
- (2) 茶栽培におけるマグロ有機肥料の最適施用モデルの提供開始
  - ・伊豆川飼料 (株) (R 5 年度 ; 基礎コース、R 6 年度 ; 応用コース)
- (3) セルロース繊維 (MFC) を活用した雑草抑制資材の開発
  - ・(株) 清友農材センター (R 6 年度 ; 基礎コース)

成 果 目 標	結 果
成果事例 (実用化、補助金獲得数) 2 件以上	3 件

⑦ 施設提供事業

中小企業の会議や研修をはじめ、大学等の講義、講演会等に施設の貸出を行った。

前年度から空調設備が故障していた演習室 1～3 を引き続き 4 月から 9 月まで使用停止としたほか、10 月～11 月の 2 ヶ月間を休館して、演習室 1～3 を含む全館の空調設備及び照明器具修繕工事を行った。このため、利用率、利用料収入はともに大幅減となった。

【会議室の利用状況】

区分 年度	開館日数 (日)	来場者数 (人)	来場者数内訳 (人)			利用コマ数 (総コマ数)	平均利用率 (%)
			会議室 利用者数	相談者数	平均/日		
令和 6 年度	290	24,639	23,506	1,133	85	2,586 (6,575)	39.3

成 果 目 標	結 果
年間使用料収入 14,110 千円以上	9,629 千円

#### (4) 中小企業支援センター事業

静岡市から中小企業支援センターの指定法人の指定を受け、中小企業が抱える様々な課題に対して診断・助言を行うなどの各種事業を実施した。

##### ① 窓口相談等事業

中小企業者や創業を目指す事業者に対して、経営の専門家である中小企業診断士で構成する窓口相談員（B-nest 経営応援団）を中心に、経営相談、マーケティングアドバイス、創業相談を実施した。

##### <B-nest 経営応援団による相談>

###### ○窓口相談員の配置

- ・ 中小企業診断士 5名（経営、資金計画、販路開拓、現場改善、キャリア開発等）
- ・ IT 専門家 4名（EC サイトやWEB マーケティングに関するさまざまな課題）

###### ○開設時間

- ・ 月曜日から金曜日 13時から19時（中小企業診断士）
- ・ 土曜日 10時から17時（IT 専門家：4名交代制）

###### ○相談件数

- ・ 675 件

成果目標	結果
新規創業者数・新商品開発件数・新分野進出件数 40 件以上（経営計画目標）	新規創業者数 31 件
	新商品開発数 7 件
	新分野進出件数 9 件
	計 47 件

※都市型産業支援事業 <創業希望者に対する経営指導、ビジネスプランのブラッシュアップ等の実施> と共通の目標

## ② 専門家派遣事業

中小企業者が抱える様々な課題の解決に向けて、適切な診断・助言を行うため、当センターに登録された民間の専門家を事業者 25 社に対して派遣した。そのうち、約半数の 13 社はホームページ構築や SNS 広告についてのアドバイスなど、IT に関する派遣であった。

- ・実施分野 経営全般・情報化・マーケティング・デザイン等
- ・実施回数 116 回／25 社
- ・登録アドバイザー（専門家） 122 名

成果目標	結果
IT 関係の専門家を新たに 2 人以上確保 (経営計画目標)	新規 IT 専門家登録者数 3 人 (R 6 年度新規登録者数合計 15 人)

## ③ 中小企業経営力強化事業

市内の企業団体に対し、地元資源や企業の技術、ノウハウを活かした新製品・新サービスの開発、事業化を加速（推進）するために、農商工連携の事業認定申請に向けた各種指導等を、他の支援機関と連携を図りながら支援した。

### < 中小企業経営力強化支援業務 >

支援先	支援内容
(有)片平木材	地産野菜を配合したソーセージを活用したホットドッグの開発及びマーケティング研究
(株)季咲亭	放置竹林から採取したタケノコを活用したメンマの販路開拓支援
水見色さらく市企業組合	農産物を活用した新商品の開発及びパッケージデザイン制作
企業組合黄金の湯	地元食材を生かしたジェラートの開発及び広告戦略の強化

#### ④ 中小企業等経営支援事業

創業者、中小企業者等に対し、経営力向上を目的としたセミナー、ワークショップ等を開催した。

前年度までは、対面式とオンラインを複合したハイブリット方式で実施した講義もあったが、本年度は参加者同士の交流を重視し、全て対面式で実施した。

マーケティングの発想から現場での集客に至るまで、バラエティに富んだ実践的な講座は受講者の満足度も高く、特に、リーンローンチパッド（\*1）実践編は、前年度に引き続き参加する企業もあり、参加者が意欲的に取り組む姿勢が見られ、たいへん好評であった。

\*1 新事業で、仮説検証を繰り返しながら効率的に事業を立ち上げる手法。

リーン（lean）＝「筋肉質」「無駄が無い」



セミナーに熱心に聞き入る聴講生たち



講座名	内 容	参加者数
中小企業等 経営支援講座 (4回)	(1)「小規模を強みに変える 中小企業のマーケティング」 講師：静岡県立大学教授 岩崎邦彦氏	82名
	(2)「すぐに売上につながるチラシ、SNS、ホームページで使える キャッチコピー術」 講師：(有)いろは 竹内謙礼氏	51名
	(3)「ビジネス・起業を成功に導くための情報収集・活用手法 2024」 講師：日本能率協会総合研究所 菊池健司氏	56名
	(4)「先生業のブランディング&集客セミナー」 講師：(株) エクスウィルパートナーズ 五十嵐和也氏	42名
特別編 (5回)	(1)「 MieNa を使って商圈分析を体験してみよう」	9名
	(2)「起業・新規事業のキモは、早く・安く・賢く失敗して探索することゼロからわかる (リーン・スタートアップ) と実践」	33名
	(3)「リーンローンチパッド実践編」(3回)	48名(延べ)

成果目標	結果
講座受講者による満足度割合 90%以上	90%

⑤ 制度融資関連事務

中小企業者が資金調達のために利用する「中小企業融資制度」の受付事務を静岡市から受託し実施した。

- ・ 融資受付件数                    832 件（前年度                    634 件）
- ・ 申請金額                    4,268,435 千円（前年度    3,395,892 千円）

【申請受付内訳】

制 度	件数(件)	金額 (千円)
小口資金	24	67,808
短期経営改善資金	238	1,248,700
産業振興資金	545	2,853,887
創業支援資金	25	98,040
事業承継支援資金	0	0
静岡市制度融資 小計	832	4,268,435
保証 (*1)	381	
合 計	1,213	4,268,435

※保証は認定事務のみ

(\*1) 保証の内訳：( ) 内は前年実績

・セーフティネット保証4号	241 件 ( 1,011 件)
・セーフティネット保証4号(台風15号)	0 件 ( 4 件)
・セーフティネット保証5号	140 件 ( 395 件)
・危機関連保証	0 件 ( 1 件)
計	381 件 ( 1,411 件)

## 2 収益事業（ツインメッセ静岡）

### （1）産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

当協会の経営基盤の安定化を図るとともに、静岡市のMICEの拠点として地域活性化を推進するため、公益目的以外(収益事業)にも展示場及び会議室を貸与した。

#### ① 展示場及び会議室等の貸与

本年度は、模型・ホビーと親和性のある新分野へのアプローチが奏功し、その成果としてクラフトフェア、カードゲーム大会、ダーツ大会、同人誌即売会などのホビー関連催事が多数開催された。

会議室は、企業の社員研修や商品説明会に加え、展示会開催時の控室などとしても幅広く活用された。

展示場における収益事業催事件数は120件で、前年度の146件から26件減少した。また、収入額から算出される収益事業比率は30.2%であった。

#### 【主な展示場利用】

催事名	使用期間
STARDOM in SHIZUOKA 2024	6/15
静岡伊藤忠ファミリーフェア	6/28～30、12/13～15
JT将棋日本シリーズ 静岡大会	7/26～27
シャドウバースエボルヴ グランドチャンピオンシップ 2024 静岡	7/26～27
Ib 謎解きミュージアム	7/29～8/26
ポケモンカードゲーム スクランブルバトル静岡	8/9～12
Steel Darts Japan Tour 2024	9/6～8
プレイヤーズコンベンション静岡2024	10/11～13
JET in 静岡	10/18～20、2/28～3/2
静岡ハンドメイドマルシェ	11/1～3
3150×LUSH BOMU vol.3	12/20～21
第二回博麗神社例大祭 in 静岡	3/22～23



ポケモンカードゲーム  
北館大展示場・南館大展示場  
全面で開催された



静岡ハンドメイドマルシェ  
2日間で約1,000ブースが出展し  
開催された

## ② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業

テナント方式によるレストラン、飲料水等の自動販売機、コインロッカー等を設置して、施設利用者・来場者の利便を図るとともに収益の確保に努めた。

サービス施設・設備	数量等	サービス施設・設備	数量等
レストラン	1店	コインロッカー	31箱
飲料水自動販売機	25台	コインコピー機	1台



レストラン駿河

### 3 公益と収益に共通する事業

#### (1) 利用促進事業（ツインメッセ静岡）

静岡市のMICE推進の中核施設の役割を担う拠点として、にぎわいと活力ある地域づくりに貢献するため、新規展示会の誘致、自主事業の開催等施設利用率の向上を目指し、各種事業に取り組んだ。

##### <利用者満足度の向上>

地域唯一の産業支援センターとして、産業振興に長年携わってきた職員が、催事開催支援の経験とノウハウを活かし、的確なアドバイスを提供することで催事の成功を支えた。

また、利用者と積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係の構築に努めるとともに、「利用に関するアンケート」により、利用者ニーズを把握し、改善可能な案件から順次対応することで、満足度の向上に努めた。

成果目標	結果
南・北大展示場利用率 51% (経営計画目標)	50.0%

##### <行政施策と連動した静岡型MICEの誘致>

大規模展示会や催事誘致を目指し、(公財)するが企画観光局や(公財)静岡県文化財団(グランシップ)と連携し、海洋関連の展示会を主催するインフォーママーケットジャパンへの訪問や情報交換を実施した。

また、「全国産業安全衛生大会」の開催地誘致に向けて関係機関へのアプローチを行い、関係性の構築に努めた。

さらに、県内のコンベンション施設と、大規模展示会や及び催事の誘致に関する情報交換を行った。

##### <地域ブランド「模型・ホビー」分野に特化したアプローチ>

静岡市の模型・ホビー発信拠点の一つである本施設の優位性を活かし、さらに強化するため、静岡市が推進する「静岡市プラモデル化計画」と連動し模型・ホビーと親和性の高い新分野へのアプローチを進め、ホビーの裾野を広げる催事の誘致に取り組んだ。

本年度は新たな分野のキーパーソンとの関係を構築することができ、令和7年度には音楽ライブ、アニメ関連イベント、キルト展などの誘致に成功した。

成果目標	結果
誘致検討案件を3件以上確保 (経営計画目標)	3件

### <目的とターゲットを明確にした情報発信>

これまでの情報発信手段に付加価値を加え施設利用者や来場者に対してより魅力的な情報を届けるため、従来の情報発信に加えて、即時性・拡散性が高く利用者数も多いX（旧 Twitter）を活用した。

定期的な投稿を継続的に行うことにより、イベント開催情報や施設の魅力をリアルタイムで発信した。

あわせて、トレンドを取り入れた投稿や話題性のあるコンテンツを展開したことで、フォロワー数が増加し、これまで情報が届かなかった層へのアプローチが可能となった。

その結果、全国の利用者や来場者への直接的な訴求が可能となり、施設の知名度及びブランド力の向上、さらには利用・来場促進につながった。

成果目標	結果
X（旧 Twitter）のインプレッション数 150,000 件以上 （経営計画目標）	2,099,317 件

### （2）有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）

来場者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行った。

- ・収容台数 立体 587 台・地下 175 台
- ・利用料金 1 時間毎 200 円
- ・駐車場利用台数

（ ）は前年度

立体駐車場	地下駐車場	計
100,034 台	1,944 台	101,978 台
（ 97,314 台）	（1,523 台）	（ 98,837 台）

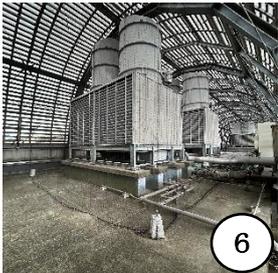
### (3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）

故障発生による施設、設備の機能停止に伴う安全性・利便性の低下を未然に防止し、施設を安定的に運営するため、予防保全的に実施してきている計画修繕は、財政状況を考慮し緊急性の高い13件を実施した。（その他小破修繕は36件実施）

計 画 修 繕	
1	南館地下駐車場泡消火設備第1期修繕
2	南館大展示場防犯センサー取替え修繕
3	南館直流電源装置消耗品交換修繕
4	中央棟ガレリア鉄骨塗装修繕
5	中央棟ガレリア照明器具取替修繕
6	中央棟屋上防鳥ネット設置修繕
7	中央棟屋上防鳥ネット設置修繕その2
8	西館外部（1階通用口）鋼製ドア取替え修繕
9	西館外部（1階避難口）鋼製ドア取替え修繕
10	立体駐車場ほかシャッター開閉器取替えほか1件修繕
11	昇降機修繕（1）（油タンク・油圧配管継手等交換）
12	昇降機修繕（2）（電源装置・バッテリー等交換）
13	中央監視装置更新修繕



4



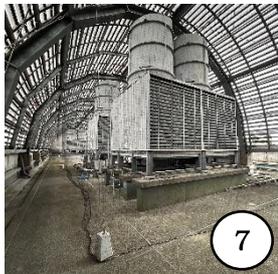
6



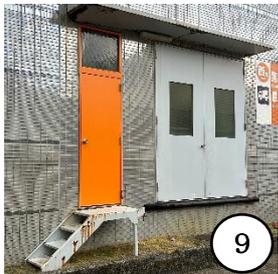
8



5



7



9

また、「消防設備」、「昇降機」などの保守点検業務（委託業務）の点検結果等より施設・設備機器の状況を鑑み、「中長期修繕更新計画」の見直しを行った。

#### 4 組織・人材づくりへの取組

##### (1) 組織内の人材育成

職員に求められる能力や意欲向上に資する研修の実施や、適材適所の配置などにより、効果的・効率的な各事業の推進及び円滑な事業継承を図ることを目的に、当協会としての研修を実施し、人事評価制度の検討を行った。

成果目標	結果
研修受講 (経営計画目標)	公益法人新会計基準移行に伴う講座や市消防局主催の救命講習など、日頃の業務に必要性の高い研修を中心に受講した。

##### (2) 組織内の内部統制

静岡市の政策実現のパートナーとして、業務を遂行していくうえで求められる内部統制機能の充実を図ることを目的に、関連する規程等の見直しを行った。

成果目標	結果
整備が必要な規程等の確認作業を行い、整備後順次施行 (経営計画目標)	職員の定年延長に伴い就業規程の一部を改正し、協会の運営安定化を図った。

## 5 理事会・評議員会

### (1) 理事会

開催年月日	議 題	審議 結果
R6. 4. 1 (決議の省略)	<審議事項> 公益財団法人静岡産業振興協会理事長及び副理事長の選任について	可決
R6. 5. 8 (決議の省略)	<審議事項> 都市型産業支援事業及び静岡市中小企業支援センター事業の変更に伴う行政庁への変更認定申請の承認について	可決
R6. 5. 29 (定 時)	<審議事項> (1) 令和5年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告及び決算の承認について (2) 定時評議員会の招集について <報告事項> (1) 理事長及び副理事長の職務執行状況について (2) 令和5年度資金運用状況について	可決 可決
R6. 7. 19 (決議の省略)	<審議事項> 令和6年度公益財団法人静岡産業振興協会第1次補正予算について	可決
R7. 3. 3 (決議の省略)	<審議事項> (1) 公益財団法人静岡産業振興協会就業規程の一部改正について (2) 令和6年度公益財団法人静岡産業振興協会第2次補正予算について	可決 可決
R7. 3. 14 (定 時)	<審議事項> (1) 令和7年度公益財団法人静岡産業振興協会事業計画について (2) 令和7年度公益財団法人静岡産業振興協会予算について (3) 令和7年度公益財団法人静岡産業振興協会資金運用方針について (4) 事務局長の退任及び任命の承認について <報告事項> (1) 理事長及び副理事長の職務執行状況について (2) 令和6年度包括外部監査の結果について	可決 可決 可決 可決

## (2) 評議員会

開催年月日	議 題	審議 結果
R6. 5. 10 (決議の省略)	< 審議事項 > (1) 公益財団法人静岡産業振興協会理事の選任について (2) 公益財団法人静岡産業振興協会評議員の選任について	可決 可決
R6. 6. 19 (定 時)	< 審議事項 > (1) 令和 5 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業の報告及び決算 の承認について	承認
R7. 3. 31 (決議の省略)	< 審議事項 > (1) 公益財団法人静岡産業振興協会理事の選任について (2) 公益財団法人静岡産業振興協会評議員の選任について	可決 可決

## 参考資料

### ◇展示場の利用状況

大展示場では、利用件数は前年度と比較して1件増加したが、利用日数は6日減少した。これにより利用率は、0.6ポイント減少し50.0%となった。

※利用率＝使用日数÷（365-休館日数）

小展示場では、利用件数は前年度と比較して44件減少し、利用日数も86日の減少となった。

この結果、利用率は5.9ポイント減少し、33.2%となった。

### ① 利用件数・利用日数・利用率

<大展示場>

( )は前年度

	北館	南館	計
件数	58 (62)	85 (80)	143 (142)
日数	164 (172)	194 (192)	358 (364)
利用率 (%)	45.7 (47.8)	54.0 (53.3)	50.0 (50.6)

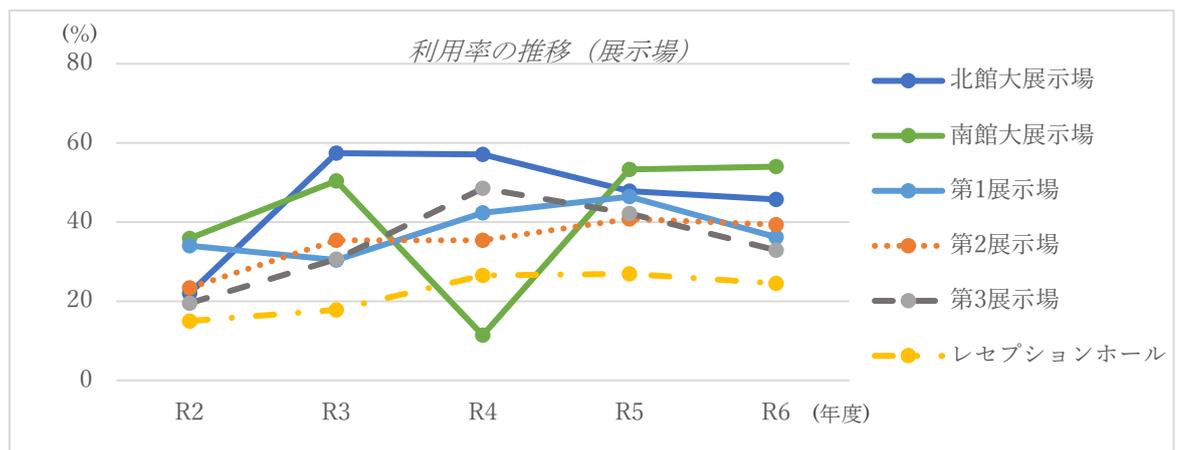
※休館日：12/29～1/3

<小展示場>

( )は前年度

	第1	第2	第3	レセプションホール	計
件数	71 (82)	34 (47)	50 (69)	44 (45)	199 (243)
日数	130 (167)	141 (147)	118 (152)	88 (97)	477 (563)
利用率 (%)	36.2 (46.4)	39.3 (40.8)	32.9 (42.2)	24.5 (26.9)	33.2 (39.1)

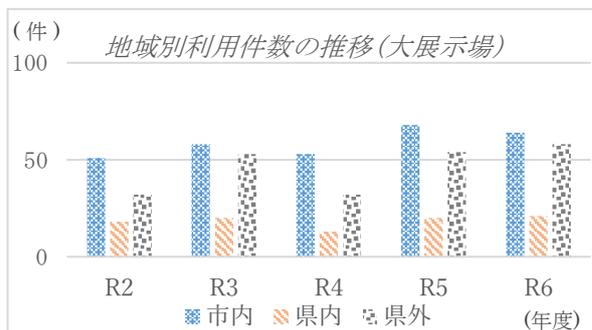
※休館日：12/29～1/3



## ② 地域別利用状況

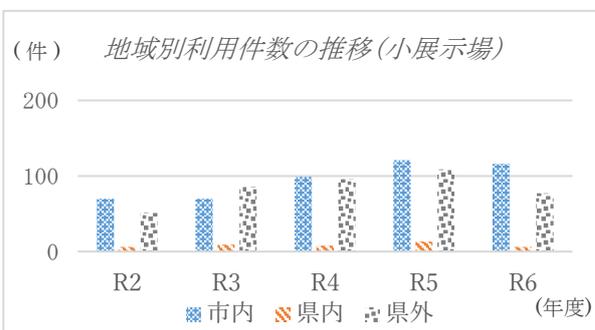
<大展示場> ( )は前年度

	市内	県内	県外	計
件数	64 (68)	21 (20)	58 (54)	143 (142)
割合 (%)	44.8 (47.9)	14.7 (14.1)	40.5 (38.0)	100 (100)



<小展示場> ( )は前年度

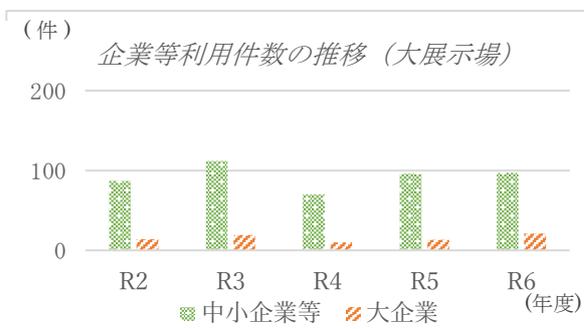
	市内	県内	県外	計
件数	116 (121)	6 (13)	77 (109)	202 (243)
割合 (%)	58.3 (49.8)	3.0 (5.3)	38.7 (44.9)	100 (100)



## ③ 企業等規模別利用状況

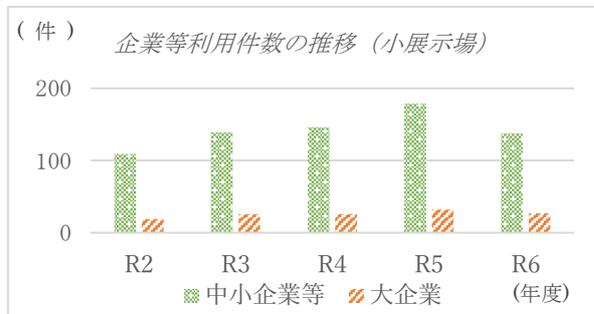
<大展示場> ( )は前年度

	中小企業等	大企業	計
件数	97 (96)	21 (18)	118 (114)
割合 (%)	82.2 (84.2)	17.8 (15.8)	100 (100)



<小展示場> ( )は前年度

	中小企業等	大企業	計
件数	138 (179)	27 (32)	165 (211)
割合 (%)	83.6 (84.8)	16.4 (15.2)	100 (100)



④ 業種別利用状況

単位：件

業 種	大 展 示 場			小 展 示 場					合 計
	北館	南館	小計	第1	第2	第3	レセ プ	小計	
農林水産・食品等	5	3	8(10)	2	0	3	2	7(14)	15(24)
産業機械・精密機械	2	1	3(8)	4	2	3	1	10(14)	13(22)
建築・住宅・資材	6	10	16(20)	5	6	4	8	23(26)	39(46)
医療・福祉・美容	2	10	12(9)	25	4	1	3	33(36)	45(45)
家具・雛具・仏壇等	1	1	2(2)	5	1	6	0	12(15)	14(17)
交通・車両・運輸	6	4	10(7)	0	1	1	2	4(3)	14(10)
家 電	2	1	3(2)	2	0	0	0	2(1)	5(3)
システム・OA・ ソリューション	0	0	0(0)	0	0	1	1	2(6)	2(6)
情報・通信・映像	0	0	0(0)	1	0	0	0	1(8)	1(8)
物流・商社・店舗	8	9	17(25)	3	2	3	1	9(12)	26(37)
衣料・呉服・宝飾等	0	1	1(1)	8	2	2	4	16(11)	17(12)
スポーツ用品	0	1	1(1)	0	0	3	1	4(4)	5(5)
家庭雑貨・文具	0	0	0(0)	0	0	0	0	0(2)	0(2)
文化メディア・マスコミ	2	6	8(2)	2	6	6	4	18(13)	26(15)
趣味・娯楽・ペッ ト・プラモデル	16	15	31(27)	8	4	5	4	21(22)	52(49)
行 政	1	4	5(6)	1	3	2	1	7(3)	12(9)
学校・教育	3	14	17(14)	2	2	1	3	8(12)	25(26)
その他	4	5	9(8)	3	1	9	9	22(41)	31(49)
合 計	58	85	143(142)	71	34	50	44	199(243)	342(385)

※( )は前年度

### ◇会議室の利用状況

会議室の利用のうち中央棟会議室では、会議室9室の利用日数の合計は1,389日であり、前年度1,463日に比べ74日減少した。また、利用率(\*1)は2.2ポイント減少し、43.0%となった。

西館会議室は、静岡市スポーツ協会及び静岡技能協会の事務所使用により、引き続き年間を通して貸与した。

(\*1) 利用率=使用日数÷(365-休館日数)

<中央棟>

( )は前年度

会議室	401	402	403	404	405	406	407	408	409	計
日数	170 (187)	174 (181)	175 (184)	117 (125)	120 (139)	115 (125)	143 (149)	231 (231)	144 (142)	1,389 (1,463)
利用率 (%)	47.4 (51.9)	48.5 (50.3)	48.7 (51.1)	32.6 (34.7)	33.4 (38.6)	32.0 (34.7)	39.8 (41.4)	64.3 (64.2)	40.1 (39.4)	43.0 (45.1)

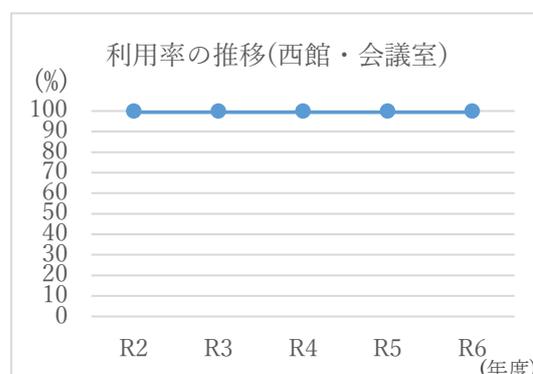
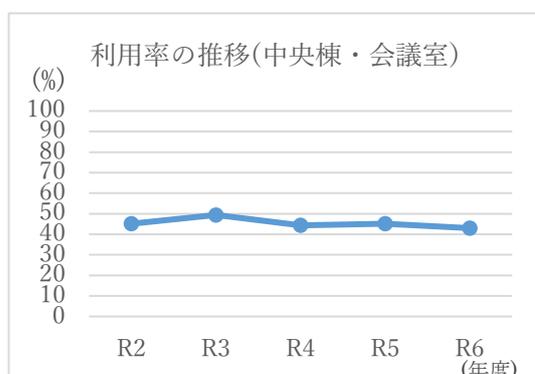
※休館日：12/29～1/3

<西館>

( )は前年度

会議室	201	202	203	計
日数	359 (359)	359 (359)	359 (359)	1,077 (1,077)
利用率 (%)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 (100)

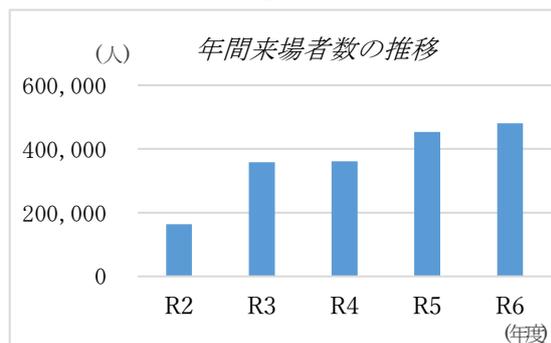
※休館日：12/29～1/3



### ◇年間来場者数

年間来場者数は、コロナ禍の収束と南館大規模修繕工事の完了に伴い、前年度より26,622人増加し、480,183人となった。

- ・年間来場者数 ※( )は前年度  
480,183人 (453,561人)



◇ 組織構成

(1) 役員 [R7.3.31 現在] ( ) は前年度

理事	評議員	監事	計
10人 (10人)	8人 (8人)	2人 (2人)	20人 (20人)

(2) 事務局 [R7.3.31 現在] ( ) は前年度

職員数 29人(28人)

◆内訳：事務局長 1 (1) 課長 2 (2) 参事 2 (3)

センター長兼プロジェクトマネージャー 1 (1) 主幹 1 (0) 副主幹 2 (2) 主任 4 (5)

主事 4 (3) 嘱託 8 (7) 非常勤 4 (4)

